

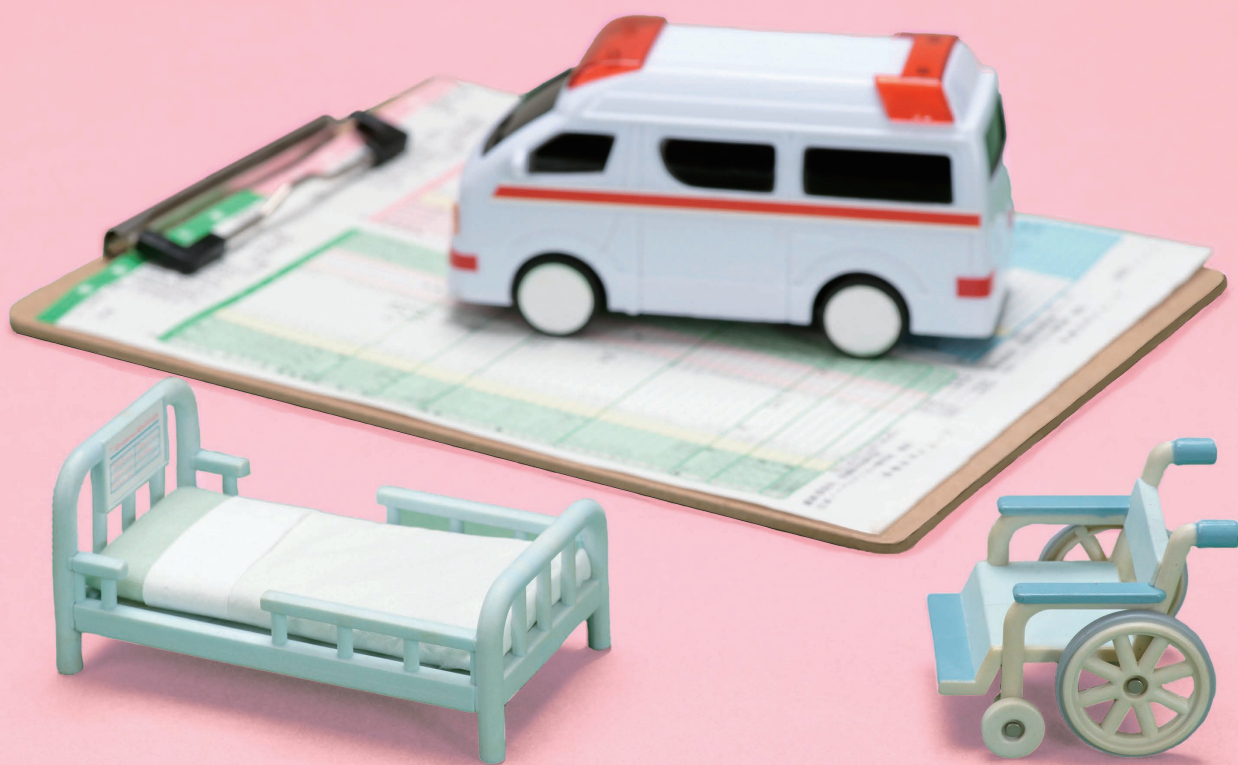
健やかねっと

健和会大手町病院 広報誌 SUKOYAKA NET

2024

vol.113

11月号



学びと実践の取り組み紹介

地域の救急医療を守るために

地域の救急医療を守るために…………… 2・3
職場だより(救急初療室) …………… 4

2024年度診療報酬改定を受けた早期転院対応について … 5
外来担当医師 …………… 6



学びと実践の取り組み紹介 地域の救急医療を守るために

健和会大手町病院は地域における公的役割として、24時間365日断らない救急医療をめざし、日々医療活動を行っております。合わせて、他医療機関やそこで働く医療従事者のみなさまとともに救急医療における課題や事例を共有する機会やもしもの災害発生時の訓練なども行いながら研鑽に努めています。今回2つの取り組みをご紹介します。

救急医療についての課題や事例を共有

第42回福岡救急医学会

福岡救急医学会はその名の通り、福岡県内の救急医療機関が救急医学の研究研修を推進し、救急医療の発展に寄与する事を目的に作られた団体です。毎年県内の救急医療機関が持ち回りで開催事務局となり、今年度で第42回を迎えることとなりました。



断らない救急をテーマに情報共有とディスカッション

今回、健和会大手町病院が開催事務局となり本会のテーマを「断らない救急～地域のすべての人たちとの連携～」とし、救急科医師の徳田副院長を会長とし、2024年9月14日(土)に北九州国際会議場にて第42回福岡救急医学会を開催しました。

当日の参加者は福岡県内外より500名を越す医師・

看護師・救急隊・その他医療従事者が参加し、他県の進んだ医療体制や行政の取り組み、救急治療後の対応など、救急診療における「入口問題」「出口問題」について情報共有とディスカッションを行う事が出来ました。当院や参加した他医療機関の参加者から多くの「気付き」があり、各医療機関へ持ち帰る事が出来ました。

北九州市の救急医療の現状

北九州市の救急車搬入件数も年々右肩上がりが増加、コロナ禍が終わってもその流れは変わりません。北九州市の主要救急病院への搬入件数は2022年度:41,673件、2023年度:63,061件、2024年度は70,000件を超える見込みです。

一方、北九州市の医療機関と救急車の受入能力は限界に近い状態です。また、2024年度から始まった「医師の働き方改革」の影響や、慢性的な人手不足、医療コストの上昇など、医療機関を取り巻く厳しい状況が続いています。

垣根を越えた連携が必要

このままでは、いずれ医療崩壊が訪れ、私達が目指す「断らない救急」を続ける事は困難となります。それでも行政機関や民間医療機関、所属管轄や医療従事者やその他業種など垣根を越えた連携をしながら、できる限り

救急を受け入れる方法を模索して行かなくてはなりません。この会で得て持ち帰った「気付き」をいかに実践出来るか、改善出来るかがこれからの「断らない救急」の実現に繋がる第一歩なのです。

もしもの災害に備える取り組み

災害拠点病院としての役割を果たすために



健和会大手町病院は、福岡県より「災害拠点病院」に指定されています。災害拠点病院は、災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院のことで、多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の救命医療や、被災地からの一時的な重症傷病者の受入れや搬出を行う広域搬送への対応機能などを有しています。

いざ災害が起こったら？

災害などが発生し、多数の傷病者が続けて搬入・来院する場合、災害拠点病院は「災害対策本部」を作り、病院全体の情報収集・指揮命令のコントロールを行います。また、傷病者の重症度によって診察場所を分ける「トリ

アージ」、他の医療機関への緊急搬送など、災害時の医療拠点として、傷病者の受入・医療活動を継続する体制を構築します。

災害に備える訓練の実施

このような災害に備えるために、当院では毎年、災害訓練を開催しています。今年度は、8月24日(土)の午前中に「小倉駅で車両の脱線事故が発生、多数傷病者が搬入される」という想定で災害訓練を行い、当院の全ての職種から150名以上の職員が参加しました。

災害拠点病院である当院は、医師・看護師・業務調整員で構成されるDMATチームを有しており、計14名(2024年9月現在)の隊員が活動を行っております。今年初めに発生した能登半島地震においても厚労省の要請により1チームを派遣、13時間かけて現地へ赴き、救護など

の医療活動支援を4日間行いました。

このDMAT 隊員監修の元に毎年の災害訓練は行われており、より実際の災害対応に近い訓練を行って有事に備えております。災害はいつ起きるか分からず、分かっても防ぐ事が困難な場合も多いものです。

普段からの備えこそが重要であり、想定外の事態が発生しても正確かつ迅速な対応を行える医療機関が「災害拠点病院」に指定され、その最たるものが「災害訓練」なのです。

職場 だより

救急初療室



24時間365日、 地域の健康と安全を 守るために

健和会大手町病院 救急初療室
室長 服部 智弘

さまざまな緊急医療ニーズに対応

健和会大手町病院の救急初療室は、地域の皆さまに迅速かつ質の高い救急医療サービスを提供するため、24時間365日体制で運営しています。夜間帯でも多様な症例に対応できるようCTスキャンやMRIなどの高度な画像診断装置を完備しており、必要に応じて速やかに診断を行うことが可能です。

また、救急医療の現場で必要とされる緊急処置や手術にも対応できる設備を整えています。多発外傷や心筋梗塞、脳卒中、重症感染症など、さまざまな緊急医療ニーズに対応しています。

常に最新・最良の医療を提供するために

また、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者を受け入れており、個々の患者に合わせた最適な治療を提供しています。その為、救急医学に精通した医師、看護師、検査技師、事務員など一丸となってスタッフ育成も行っています。定期的に研修やシミュレーショントレーニングを受け、最新の知識と技術の習得や維持を行い常に最良の医療を提供することに努めています。

ムーズな情報共有と迅速な対応を実現しています。また、他の医療機関との連携を強化し、必要に応じて専門的な治療を行うための転院や紹介対応も行っています。



地域の救急医療ネットワークとも緊密に連携し、地域の消防・救急機関と協力し、搬送の際にはス

患者さんご家族の安心を第一に

救急初療室では、患者さんとそのご家族の安心を第一に考えています。治療の進行や方針について詳細かつ丁寧に説明させてもらい、患者さんが納得して治療を受けられるように努めています。また、患者さんのプライバシーを尊重し、安心して治療を受けられる環境を提供します。

力を惜しまず研鑽を続けていきます。どんな時でも安心して受診し、地域の皆さまの頼れる存在として、今後も期待に応えられるようにしていきます。



地域の皆さまの健康と安全を守るため、これからも質の高い医療サービスを提供し続けるよう努

2024年度 診療報酬改定を受けた 早期転院対応について



2024年度は2年に1回施行される診療報酬制度の改定の年です。今回の改定も国の政策方針により、病床機能の適正化・厳格化が大きく進められています。病院の病棟には看護師配置数の基準要件が定められており、救急総合病院のような急性期病院の多くは最も配置数の多い「入院患者7人に対して看護師1人の比率」であるいわゆる「7対1看護」の基準で入院患者さんを診ています。

医療看護必要度改定による影響

「7対1看護」基準維持には単に看護師の人数以外に、入院する患者さんの病態や治療内容によっても評価される制度となっており、この患者重症度を測るため「医療看護必要度」という評価指標が導入されています。本年の診療報酬改定では、この医療看護必要度が大きく改定され、病院側にとって非常に厳しい基準要件となりました。手術や特定薬剤などの治療を実施する患者さんは基準該当患者として扱われ、反対に該当しない患者さんは急性期病院の対象外患者として早期の退院や転院が求められる状況となっています。

非該当患者が多くなり「7対1看護」の基準を満たせなくなると、その病院は重症度が低いとして看護配置数を減らさなければならなくなります。そうすると救急患者の受入れに支障を来し、地域の救急医療に大きな影響を与えることとなります。特に、高齢者の内科疾患での救急患者は患者層が多い一方で、医療看護必要度上は非該当になるケースが多く、このような患者さんの救急受診と入院をどのように支えていけるかが、地域医療の大きな課題となっています。

早期転院対応へのご理解ご協力のお願い

当院は地域の救急医療要求に応えるため、救急車の受け入れに力を注いできました。今後もこの基本方針は変えずに地域医療に貢献していく所存です。一方で制度改定による法対応もすすめるために後方病院への早期転院に加えて、救急外来受診から即日のうちに転院調整を行う取り組みも開始しています。事前に連携する他病院との協議を実施しており、当院の初期診療後に連携する他病院での入院加療が適切と判断する方には、早期の転院調整をすすめる事になります。地域の救急医療の維持発展のため、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。



外来担当医師 (11月予定)

診療受付 午前…8:40～11:30 午後…13:30～16:00 ※午後は予約のみです。
(初診の受付は午前 8:40～11:00まで)

診療時間 午前…9:00～12:00 午後…14:00～17:00

休診日 日曜・祝日、第2・4土曜、年末年始(12月30日～1月3日)

11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

ご注意ください

- 第2・第4土曜日は休診になります。
- 診療体制が変更される場合がありますので、詳細はお問い合わせください。
- 午後の内科診療は、予約の方を対象とした専門外来のみです。
- 水曜の耳鼻科は検査のため 11 時以降 1 時間程度中断することがあります。

	月	火	水	木	金	土
内科	午前 鐘ヶ江靖夫(初・循環器) 下園孝治(初・再診) 山口征啓(初診) 根井貴仁(②・④SAS)	内村作子(糖尿) (3週除く) 田場正直(循環器) 下園孝治(初診)	渡辺周(初・血液) 是永秀樹(糖尿) 原田浩介(初・再診) 春木明代(脳神経内科) 輪番	下園孝治(初・再診) 中尾英太郎(初診) (不定期) 河野俊一(循環器) (4週除く) 井上三保子(高血圧)	名和田彩(膠原病) 内村作子(糖尿) 下園孝治(初・再診) 阿部陽子(初診)	田場正直(循環器) 是永秀樹(糖尿) 桐谷浩一(初診)
消化器内科	午前 新里航	龍野奈央子		佐竹真明		
外科	午前 松山晋平 松山純子	三宅亮 久保佑樹	古城都 梅田滉弥	香川正樹	三宅亮	①三宅亮③古城都 ⑤松山純子
整形外科	午前 酒井和裕(手外科) 永吉信介 (救急外来フォロー) 馬渡玲子	古川雄樹(手外科) 濱崎将弘(脊椎外科)	吉野興一郎(リウマチ) 佐々木悠 原口和史(関節外科)	永吉信介(初診) 酒井和裕 (手外科・スポーツ)	古川雄樹(手外科) 濱崎将弘(脊椎外科)	輪番 ③辻王成
脳神経科	午前 岡崎光希(初・再診)	藤山雄一(初・再診)		岡崎光希(初・再診)	藤山雄一(初・再診)	①⑤輪番 ③末廣栄一
産婦人科	午前 佐々木俊雄 今井彰子 妹尾悠	佐々木俊雄 今井彰子	佐々木俊雄 今井彰子 妹尾悠	佐々木俊雄 今井彰子	佐々木俊雄 今井彰子 妹尾悠	輪番
耳鼻科	午前 土生秀明 宮崎健		土生秀明 宮崎健	土生秀明 宮崎健	土生秀明 宮崎健	輪番
皮膚科	午前 山本淳子	大橋隆宏	大橋隆宏	山本淳子	大橋隆宏	輪番
形成外科	午前 増田大介	多田英行	増田大介		多田英行	輪番
泌尿器科	午前 菅野貴洋	栗栖弘明	栗栖弘明	池田英夫	池田英夫	輪番

午後 (予約制)	高血圧	井上三保子(月曜)
	脳神経外科	パーキンソン・てんかん・痛み専門(①③⑤月曜・①土曜) 井本浩哉(山口大学脳神経外科)
	労働衛生	田村昭彦(第2・4月曜)
	病理診断	松木康真(水曜・金曜)
	フットケア外来	石井義輝(第2火曜)
	消化器内科	大野朋子(水曜)
	循環器内科	河野俊一(第4木曜/13:30～17:00)
	呼吸器内科	根本一樹(火曜/14:00～16:00)
	呼吸器内科	榊原秀樹(金曜/14:00～17:00)
	眼科	奥一真(第2火曜/14:30～17:00)(産医大)
	眼科	木下将良(①③⑤金曜/14:00～17:00)(産医大)
	眼科	鶴崎瑞季(②④金曜/14:00～17:00)(産医大)

インフォメーション Information 健和会大手町病院 夜間 看護助手 急募(パート)

随時面接を行います。

時給 1250円(1010円+夜勤手当:240円)

日祭日手当:400円/1日

時間帯 17:00～22:00(5時間)

交通費 支給あり、駐車場完備

仕事内容 患者さんの搬送・食事の配膳・下膳・洗い物・ゴミ回収・
環境整備・物品補充など(基本的な業務です)



連絡先

TEL 093-592-5511

内線 2421

(午前中は繋がりにくいことがあります)

時間帯 平日 10:00～17:00

看護部長室

